

特別な支援を必要とする子供への就学前から学齢期、社会参加までの切れ目ない支援体制整備

目的

専門家による指導助言を踏まえながら、特別支援教室における指導内容・方法の質的向上、授業改善等についての環境づくりを目指す。

<巡回指導教員の指導力向上>

- ①全児童が理解しやすいよう配慮した授業作り
- ②学習面及び行動面における学習環境作り
- ③適切な実態把握(アセスメント)方法

<校内支援体制の充実>

- ①全教員が主体的にかかわる校内支援体制作り
- ②通常の学級における指導の質の向上
- ③各校の校内委員会等での助言



成果

- ・個別指導計画等への助言による指導の方向付けや、指導評価による巡回指導教員の指導力向上。
- ・アセスメントへの専門的な視点からの助言による多面的な校内支援体制の充実。
- ・通常の学級担任への助言による、通常の学級における環境整備や授業中の支援の充実。
- ・管理職への報告をとおした、管理職の巡回校と拠点校の円滑な連携方法について理解の深まり。
- ・特別支援教室専門員への助言をとおした、自らの職務内容について理解の深まり。

事業内容

- ・アドバイザーは、教育委員会が決めた巡回指導校を担当する。
- ・各巡回指導校を担当するアドバイザーは、巡回指導に関する情報を収集し、必要な方策及び支援を計画する。
- ・巡回指導校の学校長に適宜報告、連絡、相談を行うとともに、調整を図り、実態把握や指導方法改善のための助言支援、指導の補助等を実施する。
- ・担当校の巡回指導や電話相談等を通して情報の収集を行い、収集した情報等を教育委員会に報告する。

